



岡山博愛会だより

岡山博愛会ホームページ

<http://www.okayama-hakuaiikai.or.jp/>

2019年12月発行

冬号



1階 集会室 横の壁にあります！
ぜひ、ご覧ください。

今回の表紙 山陽新聞 カルチャープラザ
日本画教室 講師 玉木 里美 先生

2 病院の設備が刷新されました！
外来待合ソファー・スタッフステーション・ストレッチャー

3 新任医師紹介・入院サポートセンターより

4 部署紹介 療養病棟

5 薬剤部より 災害とお薬手帳 ～いざというときに備えて～
介護医療院 みくに

6 健康コーナー・栄養部
イベント紹介・6時間リレーマラソン

7 イベント紹介
・オーダリングシステム導入
・職員旅行実施

8 特別養護老人ホーム
・ロボットセラピー“パロ”
岡山博愛会保育園
・園児の絵を掲示

「病院の設備が刷新」されました。

外来待合ソファ

外来待合ソファをリニューアルしました。以前よりもゆったりと座ることができ、立ち座りがスムーズに行える椅子を採用しました。

また、オレンジを基調とした配色にすることで温かみのある空間を目指しました。外来待合は、患者さまが安心して過ごせる空間であることが大切です。



スタッフステーション

当院のスタッフステーションもオーダーリングシステムの導入に伴い、新しくなりました。全病棟、白色を基調とした明るい雰囲気になり、テーブルや椅子、書類庫なども統一し動線が改善されました。より働きやすい職場環境に変わりました。



ストレッチャー

先日移転リニューアルした内視鏡室に岡山で初となるパラマウントベッドの移動式検査・処置台「ムーヴィス」を導入しました。これは、「待機→検査→搬送→リカバリー」の一連のステップを1台で対応でき、患者さまの負担軽減にも配慮がされています。

今後も患者さまに寄り添った空間デザインを提案していきます。



新任 医師紹介

Atuko Asiba

あしば あつこ
医師 足羽 敦子



この度、2019年8月1日より岡山博愛会病院に着任いたしました足羽敦子と申します。皆さまのライフスタイルに合った生活習慣病治療を目指しています。また、東洋医学を取り入れた診療をしておりますのでお気軽にご相談ください。

診察日のご案内

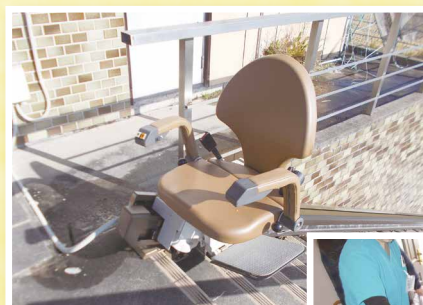
足羽医師の診察日に予約を取ってお越しく下さい。原則予約制です。予約の方優先で診させていただきます。検査や診察内容により順番が前後したり、待ち時間が出ることもございますがご了承ください。

入退院サポートセンターより

退院前訪問を行っています!!

○退院前訪問とは

当院では入院された患者さまが安心してご自宅に帰ることができるように支援しています。その一つに退院前訪問を実施しています。具体的には自宅への退院を予定している患者さまのご自宅を担当のリハビリテーションスタッフとソーシャルワーカーが訪問します。そこで実際に屋内外の段差を確認、手すりの設置や段差の解消といった住宅改修の提案、生活する上での動作指導を行います。



○訪問時期や指導の内容について

患者さまの能力に合わせた住宅改修の提案や動作の指導、必要な福祉用具の選定（電動ベッド、歩行器、杖、入浴用椅子など）についてアドバイスを行います。

また、必要に応じて現地で担当ケアマネジャーや福祉用具の専門業者とサービスの利用や住宅改修の検討を行います。

部署 紹介

看護部

療養病棟

Nursing Department Medical Treatment Ward



患者さまの思いに寄り添う



患者さまに必要とされる看護・介護を目指して

当院の療養病棟は、引き続き長期的な治療やリハビリの必要な方から看取りの方まで様々な人が入院される病棟です。また、複数の疾患をもつ方が多いため、酸素吸入や吸引、24時間の点滴など医療依存度が高い方も少なくありません。そのため、病気や障害により、自らの体調不良を訴えることが難しい患者さまは、日々の体調管理を行うことが大切になります。全身状態を観察し、呼吸や意識障害など、いつもとは違う変化を察知し、医師に報告、検査、治療が適切に行えるように、早期発見に努めています。

当病棟では、患者さまにとって必要な看護・介護が提供できるように、スタッフ一人ひとりがその日の目標を発表しています。そして、最後に手をつなぎ「頑張ろう!」と連携感を高め合っています。

いつでも患者さまの思いに耳を傾け、気持ちに寄り添い、患者さまにとって必要とされる看護・介護ができるように取り組んでいきます。



日本は「災害大国」と呼ばれるくらい毎年のように自然災害が起こっています。みなさんは災害時の備えをしていますか？ 被災時に、お薬の情報が分からず、薬がきちんと服用できないと、命に関わる場合があります。

東日本大震災では、様々な理由で多くの方が「普段飲んでいるお薬」が手元にない状況になり、救護所では、患者さまが飲んでいたお薬の特定が難しく、医師や薬剤師が適切な薬を出すのに苦慮するという事態も起こりました。

このとき、「お薬手帳」が威力を発揮しました。持病や飲んでいるお薬、アレルギー等の把握がスムーズにでき、被災地での診療に非常に役立ったのです。お薬の情報は、「お薬手帳」以外にも、「お薬の説明書(薬剤情報提供書)」などにも書かれています。このお薬の情報を、非常時に持ち出す避難袋の中や、よく持ち歩いているカバンなどに入れておきましょう。日頃からお薬の情報を携帯電話で写真に撮っておき、最新のお薬情報として保存しておくという方法もあります。普段飲んでいるお薬がある方は、いざというときに備えておきましょう。

紹介

介護医療院 みくに

介護医療院みくには、常勤医師が配置されているため医療ニーズの高い要介護者の方にも対応できるほか、人生の最終段階におけるケア(看取り)も行っています。

また、24時間看護師を配置し、夜間の急変時などにも対応できる体制で岡山博愛会病院と連携をとりながら、安心して過ごせる環境を提供しています。

介護医療院みくにへ転換し1年が過ぎました。「その人らしさ」を大切に快適な生活ができるようケアに努めています。



何を感じ何を望んでいるかを汲み取ることで、日常のあらゆることが生活リハビリに繋がります。

心が動けば身体が動く！ 小さなきっかけが生きる楽しみを生み出す！

一緒に笑顔になれる、みくにを目指しています。



栄養部より

免疫力を上げて風邪予防

大根の生姜スープ

エネルギー 23kcal

材料
1人分

大根	50g
生姜	5g
葉ねぎ	1g
だし汁	200ml
酒	大さじ1/2
しょうゆ	小さじ1/2
みりん	小さじ1/2

《作り方》

1. 大根は半月切り、生姜は千切り、葉ねぎは小口切りにする。
2. 鍋にだし汁、大根、生姜を入れ火にかける。
3. 酒、しょうゆ、みりんを2に入れ大根が軟らかくなるまで煮る。
4. 器に盛りつけ、葉ねぎをのせ完成。



ひとこと
寒くなると、風邪やインフルエンザなどの感染症に気をつけなければなりません。体温が下がると免疫力も低下してしまうため、注意が必要です。生姜には、血行を促進し体を温めてくれる働きがあります。体温を上げて感染症に負けない体をつくりましょう。



Let's cooking ♪

イベント紹介 / Event



「6時間リレーマラソン」



10月6日(日)、当法人は、「第9回トマト銀行 6時間リレーマラソン」に参戦しました。今年で3回目の参加になります。ユニフォームをリニューアルし、背中には「挑戦」を掲げ、ランナー・応援者ともに6時間リレーマラソンに挑みました。また、天候にも恵まれて、絶好のリレー日和！今回は、中尾院長、新卒の方たちも新たにメンバーに加わり、職種の垣根を越え和気あいあいとリレーを楽しみました！



イベント紹介

Event



「オーダリングシステム導入」



当院では 2019 年 8 月にオーダリングシステムを導入しました。オーダリングシステムとは、医師が直接パソコンを操作し、処方や検査などのオーダ（従来の処方箋や依頼伝票にあたるもの）を入力するシステムです。入力されたオーダ内容は、薬剤部や検査室などの関連部門へ伝達されるとともに、医事会計にも利用されます。

また、オーダリングシステム導入にあわせて、部門システム（検査、調剤および PACS 医療用画像管理システム）のリニューアルを行いました。検査については、できる項目が増えるとともに、検査結果が正確かつスピーディに提供できるようになりました。その他にも、調剤支援システムや、最新の分包機（薬を飲みやすいように、飲み方にあわせて薬を 1 回分ずつ袋にまとめて包装する機器）を導入し、患者さまにとって、より安全で飲みやすいお薬の提供ができるようになりました。

当院では磁気カード入り診察券の導入など院内の ICT 化を進めています。今後とも患者さまのケアやサービスの向上とより良い医療の提供に努めます。



「職員旅行実施」

法人の親睦会主催で岡山博愛会初の職員旅行に行きました。行き先は、レオマワールドとUSJです。家族も参加することができ、多くの職員の方に参加いただきました。旅行をきっかけに普段触れ合うことのない職員

同士も、職種の垣根を越えて交流することができました。どちらも自由時間が沢山あったので、様々なアトラクションも満喫することができ、しっかりリフレッシュしてまた職員一丸となって仕事に励みたいと思います！



特別養護老人ホーム

アダムスホーム

『ロボットセラピー“パロ”』



11月よりアザラシ型ロボット「パロ」をレンタルしています。入居者のみなさんにとってもかわいがっていただいています。頭や背中を撫でたり、名前を呼んだりするとパロは喜んでいるしぐさを見せてくれます。「本当にかわいいわ。」と笑顔で言われます。中には本当に生きていると思われている方もいます。「この子は何て言うの？」と興味津々に色々聞いてこられ、笑顔も増えました。入居者同士や職員との会話も増えて、施設の中が明るくなったように感じます。

社会福祉法人

岡山博愛会保育園

『園児の絵を掲示』



新園舎工事現場の白い工事フェンスにあお組の子どもたちが描いた絵が掲示され、可愛く彩っています。子どもたちの描いた絵はマグネットシートに印刷されており、雨が降っても濡れません。お散歩に行った子供たちは自分たちの描いた絵を見つけ、「これ、ぼくがかいた」「あっ、わたしの」と歓声を上げていました。子どもたちも新園舎ができることをとても楽しみにしています。



2020年4月開園 (完成予想パース図)



社会福祉法人 岡山博愛会 岡山博愛会病院

〒702-8005 岡山市中区江崎 456-2
TEL (086) 274-8101 FAX (086) 274-8005
入退院サポートセンター
TEL (086) 274-8009 FAX (086) 274-0065
岡山博愛会ホームページ
<http://www.okayama-hakuikai.or.jp/>

アクセス

バス ● 岡電バス：岡山ふれあいセンター行き・
新岡山港行き・新岡山港入口行き
「博愛会病院前」下車 岡山駅より約25分
お車 ● 2号線倉田交差点から新岡山港方面へ約1.2km



企画・編集 岡山博愛会広報委員